

第13回 中央通り再編関係者調整会議 会議録

■ 日 時 令和6年7月11日（木） 10時から12時

■ 場所 四日市商工会議所 3階 大会議室

■ 出席者

（学識者）

有賀隆座長

松本幸正委員

村山顕人委員（Web 会議にて出席）

（交通関係者）

佐脇健介氏（代理）（Web 会議にて出席）、田伏祐貴氏（代理）、増田浩士氏、三輪直樹氏、中林広己氏、青木周二氏

（市民・商工関係者・大規模権利者）

山路和良委員、橋本勝文氏、山本勝徳氏、北岡泰爾氏、堀木直弘氏、秋田和伸氏（代理）、佐野貴信氏、鈴木主計氏、北島肇氏、下山英彦氏（代理）（Web 会議にて出席）、安達勝也氏

（行政）

田中文美氏（代理）、時岡利和氏（Web 会議にて出席）、小野明子氏（代理）（Web 会議にて出席）、舘英次氏

（オブザーバー）

三重県警察本部交通部交通規制課施設係補佐 上前晃司氏（代理）（Web 会議にて出席）

国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設安全対策官 崎谷唯比彦氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長 後藤直紀氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部地方整備局道路部道路計画課長 柴田康晴氏（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課課長補佐 金森幹雄氏（代理）（Web 会議にて出席）

国土交通省中部運輸局三重運輸局首席運輸企画専門官 小島光洋（代理）（Web 会議にて出席）

■ 議事

1. 第12回中央通り再編関係者調整会議の振り返り
2. 関係者との協議・調整に伴う対応
3. 工事の進捗とデザインワーキンググループの報告
4. 「ニワミチよっかいち」景観形成戦略（案）
5. 「ニワミチよっかいち」利活用戦略（骨子案）
6. 今後の進め方

■ 内容

<座長>

ご参集いただきありがとうございます。3月25日の前回以降、検討を進めております。これまでの報告に加えて、景観形成戦略案と利活用戦略骨子案が説明されます。事業主体が複数おられ、管理運営においては民間事業者、交通事業者の協力が必要で、長い期間でこの中央通りを育てていく必要があります。今後の管理運営や魅力的な都市を作り上げていく中で、よりどころとなるハードとソフトの2つの戦略となっていくものと期待しております。各委員の観点から、戦略に対するご意見をいただければと思います。お手元の資料1に沿って進行いたします。次第1～3について資料4に沿ってご説明をお願いいたします。

【1. 関係者との協議・調整に伴う対応】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご質問ございましたら、お願いいたします。

<A氏>

駐輪場に関する意見では、今後、全体の駐輪場計画について検討となっていますが、内容や進捗はどのような状況なのでしょう。

<事務局>

中央通り再編基本計画の中では、1街区に1箇所の駐輪場を確保する方針で位置付けています。今後、JR 四日市駅側の中央通り公園の検討も進めている中で、台数や配置を合わせて検討を進めていく予定です。

<A氏>

具体的な位置関係についてはまだ決まっていないということでしょうか。

<事務局>

基本計画の中で場所を示していますが、自転車の動き等踏まえて、街全体として捉えていかなければならないと考えています。まずは基本計画である一定の場所でお示ししている状況です。

<A氏>

バスタの北側の商店街は自転車での通行はできないという整理になっていたと思いますが、その付近には駐輪場は配置されるのでしょうか。

<事務局>

バスタのところに1箇所駐輪施設を検討しています。具体的な場所は基本計画にも記載しています。地下駐車場に入っていき入り口の北側に自転車道が配置され、アーケードに入る手前、具体的には公園通りから若干東側に一定の駐輪施設を配置していく計画です。

<座長>

中心市街地全体での計画の詳細度が上がるのに従って、自転車に関する計画も精査しているというところで、今後検討との表現になっていると認識しています。

<B氏>

5ページの湯の山線高架下バス待機場については、路面バスを中心としたものだと思いますが、観光バスも停めることができるのでしょうか。また、観光バスの待機場は検討しているのでしょうか。

<事務局>

湯の山線高架下については、駅東のバスタの中にバス待機場を設けることができないことから、路線バスの待機場として現在検討しているところでございます。運用については、路線バスが駐車しない時間帯に観光バスの待機も可能となる可能性がありますので、バス事業者と協議しながら、引き続き調整していきます。

<B氏>

今後、四日市は観光客を受け入れる体制を整える必要があると考えますが、観光バス専用の駐車場は検討しているのでしょうか。

<事務局>

中央通り再編基本計画の中では観光バスの駐車場は検討しておりませんでした。観光用の駐車場のご要望があるということは認識しています。中央通り周辺に観光バスの駐車場を設置することも含めて、観光部局と連携しながら、調整していきます。

<C氏>

5ページの内容について、東から西の一方通行になるとのことですが、いつ頃から一方通行になるのでしょうか。

<事務局>

今年度中の工事完了に向けて、秋以降、規制を順次進める予定です。

<C氏>

規制を知らずに通行しようとする車がでてくるかと思しますので、事前の告知を十分にいただければと思います。

<事務局>

周辺への周知、現場の案内など、事前周知を徹底していきたいと思えます。

【2. 「ニワミチよっかいち」景観形成戦略（案）】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

資料5について、枚数、内容が多いので、細部についての質問もあるかと思えます。通常であれば、1～16ページの全体の景観についての考え方から質問いただければと思っておりますが、より身近なスケールで理解しやすいのは、17ページ以降かと思えますので、前半、後半で分けずに、気づいた点から質問いただければと思えます。

<A氏>

近鉄四日市駅の高架下に関する考え方の話が抜けているように感じました。どういったデザインにしていくのでしょうか。

<事務局>

近鉄四日市駅の高架下については、鉄道事業者の敷地になりますが、鉄道事業者と協議しながら、景観形成戦略に基づいて検討していく方針です。現時点で詳細は決まっておりません。

<D氏>

「ニワミチよっかいち」の意味合いは、デザインの呼称であって、中央通り自体の名称ということではないという認識であっているのでしょうか。また、今後、中央通りの名称を決めていくのでしょうか。

<事務局>

「ニワミチよっかいち」は整備のコンセプトとして名付けたもので、中央通りの名称をどうするかというのは、現時点では方針は定まっていますが、「ニワミチよっかいち」という言葉は大切にしていきたいと思っています。一方で、街区毎に〇〇ストリートという一つのコンセプトでデザインを合わせたりファサードを統一したりする動きも今後出てくると思いますので、そういったもので統一させていくのか、「ニワミチよっかいち」で統一していくのか、今後皆さんと議論しながら考えていきたいと思っています。

<D氏>

名前を募集するなど、関心のある市民をより巻き込んでいけるようにしていただければと思います。

<事務局>

円形デッキについては、市民の皆さんから名称を募集することを予定しています。そのほかに整備される象徴的なものについても、市民から名称を募集することを検討できればと思います。

<B氏>

駅西は新たに自転車道が整備されていますが、既にスケートボードが滑走し、汚されています。駅東の整備で、スケートボードが滑走しないような対策は考えられるのでしょうか。また、スケートボードパークを別途整備する予定はあるのでしょうか。

もう一点、基本計画の中で、水沢の茶畑の展示を駅東に設置する話が出ていましたが、現時点の計画でも駅東に茶畑を設置する予定でしょうか。

<事務局>

駅西の先行整備区間では、スケートボードが滑走し、被害も出ている状況です。中央通りにスケートボードパークを設置した際に協力を得た愛好家とともに対策を検討し、まずはソフト面の対策として迷惑滑走禁止の周知を進めていく予定です。ハード面では、滑走しづらいベンチの座面、舗装と植栽を混ぜた設えにするなどの対策を講じたいと思います。

スケートボードパークについて、現在設置しているものは社会実験として仮設で設置しているものです。中央通りの国道1号以東で今後 Park-PFI を導入すべく、民間事業者へのサウンディングを重ねているところですが、スケートボードパークとの共存が課題になるとの意見もあり、スケートボードパーク設置は決まっていません。ただ、アーバンスポーツを取り入れた賑わいの創出は社会実験で成果を上げていますので、取り入れていきたいとは考えています。

水沢の茶畑の展示については、中央通り公園の中に設置する計画を進めています。

<A氏>

警察にも参加いただき、スケートボーダーと会合を持ちましたが、話は進んでいません。会合に参加した方は、決められた場所の中でスケートボードを楽しんでいるという話ですが、それ以外の人によって駅西でスケートボードによる被害が発生しています。罰則規定を設ける方向性も含めて、今後の対策を論議する必要があると思います。

<事務局>

スケートボードの不法滑走の問題は深刻だと捉えています。どういう風に新しい文化と共存していくかというのがまちの一つの大きい課題であると認識しています。

最も被害が起きているのが歩道部分のベンチで、飛び乗ることで被害が起きています。例えば25ページの左側の写真のように、滑走しにくくする対策を考えています。

まちなかのルールを守るのは取り締まりだけでは難しいこともありますので、みなさまのご協力も得ながら対策していければと思っておりますので、どうかご協力をお願いいたします。

<E氏>

車道沿いの樹木について、バスのミラーが張り出しているもので、2~3mの高さで車道側に枝葉ができるだけ張り出してこないよう、品種や植える位置の検討をお願いします。

<F氏>

樹木の話もありましたが、今後、この戦略に基づいた空間ができた後に、どう維持管理していくかは非常に重要だと思っています。スケートボードによる被害や、劣化したときに、当初の戦略とは違った空間になる。この戦略には維持管理に関する言及はないと思います。完成したあかつきにもPDCAサイクルを回す、どうやって維持管理するかの方針が明確ではないと感じます。

それから、位置づけが異なるものが混在していると感じます。41ページまでは公共側が整備していく位置づけかと思いますが、42～44はデザインルールを記載しているように、今後、民間が整備する際に従ってほしいという位置づけだと思います。45ページは、沿道の開発において、このような方針に従ってもらえるとありがたいというレベルの位置づけだと思います。レベル感が違うものが混在しているので、再度整理していただきたいです。

45ページの沿道の開発においては、方針の実現には何らかのインセンティブが必要だと思います。規制の緩和や補助金など、政策的な誘導をおこなうことで可能になると思います。

<事務局>

維持管理に関して、このあと説明させていただく利活用戦略も踏まえて考えていきます。一方で、公共空間の中で民間が Park-PFI での整備や仮設物を設置する際にも、戦略を踏襲し、コンセプトを理解したうえで使ってもらえるよう、わかりやすい表現にして内容を整理していきたいです。

沿道の開発について、コンフォートホテルが税制優遇を受けられる県内初の制度を使っています。民間から利活用の相談を受けて制度を紹介するような運用ができればと思っていますが、市としても民間の整備を支援する政策を検討していきます。

【3. 「ニワミチよっかいち」利活用戦略（骨子案）】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされ、続いて各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

本日の事項書の資料6にも書かれていますが、今回の利活用戦略は骨子案ということで、今後肉付けを行っていく予定です。

<D氏>

エリアが四日市に固執していると感じますが、もう少しワイドなエリア感の戦略も織り込めないでしょうか。三重県とも連携し、三重県北勢エリアの事業という感覚を持てるとよいのではないかと感じました。

<事務局>

今回はリニア中央新幹線の開通を機に、まちの中心市街地の魅力を高め、将来にわたっても三重県の中心となる都市でありつづけることを考えているため、ご指摘の趣旨はよく理解しました。中心市街地の価値を大きく高めるために、まずは四日市の市民としっかりした連携体制を作っていくことを重視していますが、その中で、もう少し三重県と連携することができるのか、検討していきたいです。

<G氏>

中央通りに関するところでは、大学関連で三重県に関わってほしいと思っています。JR 四日市駅、港周辺はより広域的に人を集める場所になるイメージを持っています。中心市街地のまちづくりに対して、三重県に関わってもらえるように進めていきたいです。

<B氏>

商店街としては、駅前に図書館を建設する計画は大いに賛成していましたが、図書館の建設が頓挫してしまい残念です。今後、この中央通りの再編の中の一環として、中央通りエリアの中に図書館が開設されることを切に望んでおります。自治会とも連携して駅前の図書館を希望していましたが、改めて、中心市街地の再開発の中に図書館新設を組み入れていただきたいです。

<G氏>

図書館につきましては、近鉄とも協力して計画をしてきました。社会情勢の影響で近鉄四日市駅前での整備は中止となりました。建設費の高騰が一番大きく、タワーマンションと合築の予定でしたが、そうすると建設費が非常に高くなってしまいう状況です。今後は市単独で違う場所に図書館を作っていく方向で考えております。場所は選定しているところですが、中心市街地で整備していくとなれば、ニワミチよっかいちと連携して相乗効果を得られるようにしていきたいと思っております。どうか今後ともご支援よろしくお願いたします。

<H氏>

スターアイランド跡地で四日市市の図書館との複合施設を計画していましたが、残念ながら、昨今の建築費の高騰等に伴い、この地での図書館の計画というのは中止となっております。スターアイランド跡地は駅前の一等地であり、商店街の入り口でもありますので、今後どういう活用ができるのかを近鉄不動産を中心に検討していますので、発表できる時期になりましたら、発表させていただきます。よろしくお願いたします。

<I氏>

行政内の部署、教育とか文化部、環境、危機管理といった部署間の連携はどういった進め方をしているのでしょうか。

<G氏>

現在は道路を整備したり、ルールを作ったりということで、都市整備や都市計画の分野がメインで進めておりますけど、今後中央通りを利活用する段階では、都市整備部だけでやっていくものではなくります。新たな組織を作り、全体の利活用のコントロールをする、一般の方はワンストップで活用や運用の調整ができる窓口となる組織をぜひ作っていきたくと思っています。これは第三セクター的な市と民間と一緒にやっていくものになっていくと思うのですが、行政の縦割りを解消するような組織になると考えています。

<F氏>

5ページまではとても良いと思います。先ほど、四日市だけでなく三重県全体を視野に入れるという話がありましたが、中央通りだけでなく周辺への波及ということ、願わくは、三重県の全体への波及を目指してもらえればと思います。ただ、6ページ以降から、だんだん中央通りだけの話に閉じてしまっていると感じます。今一度、中央通りの賑わいをまち全体に波及していく視点を持って記載いただきたいです。

また、実際にどういった活動が行われるのか想像すると、主に収益事業かと思いますが、そうではない取り組みが行われてもいいと思っています。収益に直結しないけれど、誰でも使えるというのは非常に重要だと思っています。インクルーシブ、包摂性という意味合いで、どんな人でもその空間を使えるというようなマインドをしっかりと書いてもいいのではないかと思います。

維持管理については、市民活動として維持管理をしていこうという動きもありますがやはり、市民活動だけではカバーできない部分がありますので、もう少し広い意味での維持管理についても記載しなければならないと思います。

<事務局>

利活用の3つの戦略で重要な視点をいただいたと思っています。公共空間の利用調整に記載が偏っているとの指摘、インクルーシブな賑わいづくりについてのご意見をいただきました。中央通りの整備は、国交省の「WEDO」に基づいて計画をしてきており、みんなが活用できるというのが方向性かと思っています。利活用の戦略はこれから関係者が入って議論を重ねる中で成長していく成長戦略になると思いますので、充実した戦略になるよう努めてまいります。

維持管理について、マネジメントの主体「ニワミチよっかいちまちづくりパートナーズ」は市が設置する計画ですが、市も一定の役割を果たしたうえで民とともに育てていく考え方です。その中で各々が果たせる役割を精査できたらと考えています。

<座長>

先ほど触れたように、今回は骨子案で、利活用戦略はまだアイデアの段階であって、もっと肉付

けていけるポテンシャルも十分にあると思います。

非常に多主体の担い手が連携して、時間をかけて育てていくという特徴を持った事業で、みなさんの活動に応じて拡張したり、展開したり、その中でまちなかに波及したりしていくと思います。具体化させようとするとも時間もかかっていくし、様々なプロセスを踏んでいかないといけないところも当然あると思います。その立ち上げに際して、PFI や様々な民間事業者の指定管理も含めて、まずは立ち上げ期に共通認識を持ち、みんなで協力していこうという意味での利活用戦略になると思います。

ただ、初動期のみの一時的な利活用戦略にとどまらず、その次の拡張展開期の利活用戦略、あるいは長期的な成熟期の戦略につながっていくと思いますので、後から拡張できるようにしていくというアイデアもあると思います。

【4. 今後のスケジュールについて】

事務局から資料説明が行われた後、座長より以下の説明がなされた。

<座長>

今後の進め方の内容についてご質問がございましたらお願いします。そのほか、全体を通してお気づきの点があればお願いします。

<J氏>

湯の山線高架下について、観光バスの待機場の話もありました。他県から人に来てもらうのに観光バスは大事な交通手段だと考えています。観光バスは食事の際には1時間以上待機するなど、路線バスより変則的になり、湯の山高架下の待機場ではあふれてしまうことも考えられます。港側にも待機場を確保するなどの対応も検討いただければと思います。

<事務局>

路線バスの待機場に観光バスをいれるのは難しい点もあると認識しております。中央通りだけでなく、周辺も含めてどういった対応ができるか、観光部局とともに検討します。

<座長>

その他いかがでしょうか。特にございませんでしたら事務局にお返しします。

<事務局>

ありがとうございました。委員関係者の皆様におかれましては長時間にわたっての活発な意見交換をいただきまして誠にありがとうございました。次回第14回の会議につきましては、令和6年11月頃を予定させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。将来の四日市市の玄関口の整備に向けた中央通り再編基本計画がより良いものとなるよう事務局として引き続き精一杯取り組んでまいりますので今後とも皆様からのお力添えをいただきますよう、よろしく願い申し上げます。以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様誠にありがとうございました。

—以上—